

“あらゆる癌に、一日一錠アスピリン” ～アスピリン信奉者からのメッセージ～

Effect of daily aspirin on long-term risk of death due to cancer: analysis of individual patient data from randomized trials

【背景】つい最近、中田先生が 5 つの大規模研究でアスピリンが、短期間服用でも結腸癌発症を抑制するという論文を詠んでいただきましたが、今回は、8研究 20 年間のメタ解析が報告されました。

【方法】アスピリンによる、心血管イベント抑制を検討した 8 つの大規模研究のメタ解析により、総勢 25,570 名、75mg 以上のアスピリン服用者の 20 年間の癌死リスクについて検討されました。

【結果】経過中、674 名の癌死患者が報告され、アスピリン服用者は、コントロールと比較し OR0.79 と有意に癌死リスクの抑制を認めました。5 年以上経過してからの癌死の抑制が有意で、服用期間 5 年以上で有意な差を認めました。治療期間を 5 年以上の限ると、10 年で明らかな抑制を示すのは、非消化管系の腺癌、特に肺がんでの抑制が有意であり、10 年以上の長期では、非腺癌、特に食道、胃、大腸癌の消化管癌も有意に抑制していました。治療開始時の年齢では、消化管癌は年齢に関係なく抑制しますが、非消化管癌では、高齢のみの抑制で、55 歳以下では、明らかな抑制効果を認めませんでした。ワーファリンではこのような癌死リスク抑制効果は認めませんでした。

【結論】このように、毎日長くアスピリンを飲んでいると、消化管癌だけでなく、腺癌にも効くようです。アスピリン信奉者の方々、是非、服用を開始され、10 年後にこっそり結果を教えてください。。。。

(文責 阿比留)